

生活科

単元名 「あそびばにいこう（はる）」
指導時数 3時間扱い

ねらい

- ・校庭や近くの公園に行き、春の動植物を見付け、その特徴に気付く。
- ・見付けた春を利用して、遊ぶ。


幼稚園・保育所で経験してきたこと

- ・春の植物や虫に関心をもつ子は多く、虫を見付けて世話をしたり、草花を遊びに取り入れたりしている。植物の栽培も、ほとんどの子が経験している。これらの関心は高く、図鑑で知識を得ている子も多い。

接続を踏まえた指導の工夫

- ・これまでの春探しの経験を基に、春の植物や虫のことで知っていることを発表し、春探しへの意欲につなげていく。また、春のものを利用した遊びで知っている遊びを出し合い、広げていく。

学習活動例

時間	学 習 活 動	○配慮事項 ☆他教科等との関連 ★幼児教育との関連
1	<p>1 校庭に出て、春の植物や虫などを探す。 (虫や小動物) オタマジャクシ、モンシロチョウ、ミツバチ、テントウムシなど</p> <p>(植物) 桜、菜の花、チューリップ、ツツジ、つくし、木の芽の芽吹きなど</p>  <p>2 見付けた春を簡単にスケッチする。</p> <p>3 春の校庭で遊ぶ。</p> 	<p>生活 4～5月</p> <p>★幼児期にも春の虫探しをしたり、チューリップの栽培をしたりして、春探しの体験をしていることが多い。ここでは、既知の春を想起させながら、校庭の春探しへの意欲を喚起させたい。</p> <p>☆国語の「はる」と関連させ、国語で意欲付けし、生活で実際に春を探す活動をするという流れで指導すると効果的である。</p> 
2	<p>1 近くの公園や林・河原・原っぱ・田んぼなどに行く。(1回目)</p> <p>2 春の植物や虫などを探す。 ・校庭で見付けた春と同じ植物や虫 ・校庭では見付けられなかった植物や虫</p> <p>3 見付けた春を利用して遊ぶ。 例 レンゲソウの花輪作り、草相撲、オタマジャクシ取り、菜の花の髪飾り作り</p>	<p>★幼児期に春の植物を利用して遊んだ経験を想起させ、知っている遊びを全体に広げていく。 また、幼児期に獲得した「春」に関する知識を発表させ、それを認め、褒めることで、春探しへの意欲を高めていくよう配慮する。</p> 

時間	学習活動	○配慮事項 ☆他教科等との関連 ★幼児教育との関連
3	<p>1 前回とは違う場所へ遊びに行く。</p> <p>2 春の植物や虫などを探す。</p>   <p>3 見つけた春を利用して遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達が知っている遊びで遊ぶ。 ・自分が知っている遊びを教える。  	<p>○知っている遊びでもやり方が違うことがあるので、情報交換をしながら新しい遊びへと発展させていくきっかけにする。</p>    <p>○植物や虫、小動物などだけではなく、光、水、風など、自然の様子にも目を向けさせ、体全体で春を感じるように声をかける。</p>